

(様式1)

校番	高 4
----	-----

平成28年 8月5日

広島市教育長様  
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島市立広島工業高等学校 定時制

校長名 荒 木 猛

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定資料(報告)

月日(曜日)	選定手順の内容
6月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"><li>平成29年度使用高等学校用教科用図書採択事務説明会に出席する。</li><li>校長は校内における平成29年度使用教科用図書選定に係る事務の推進を行うため「平成29年度使用教科用図書選定委員会」を組織する。</li><li>調査員を任命する。</li><li>選定委員会において、教科用図書選定が公正かつ適正に行われるよう協議し、調査の観点及び視点を決定する。</li></ul>
6月10日(金)	
6月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"><li>選定委員会は、調査員に教科用図書を調査する観点及び視点を示す。</li><li>調査員は選定委員会の依頼に基づき、教科書目録に記載されている教科用図書について、調査研究を行う。</li></ul>
6月13日(月)～	
6月30日(木)	<ul style="list-style-type: none"><li>調査員は調査結果を選定委員に報告する。</li><li>選定委員会を開催し、平成29年度使用教科用図書について審議し、その結果を校長に答申する。</li></ul>
7月14日(木)	
7月15日(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>校長は、選定委員会からの答申に基づき、平成29年度使用教科用図書申請書を作成する。</li></ul>
8月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>校長は、広島市教育委員会へ、平成29年度使用教科用図書申請書を提出する。</li></ul>

(様式2)

校番	高 4
----	-----

平成28年 8月 5日

広島市教育長様  
(学校教育部指導第二課)

校名 広島市立広島工業高等学校(定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校・中等教育学校(後期課程)用教科用図書選定資料(報告)

1 学校の特徴		
<p>本校は、平成25年度に生産技術科・建設技術科を工業技術科に学科改編し、平成28年度に完成年度を迎えた単位制高校である。2年次からは、機械・電気・建設の3つのコースに分かれ、生徒の興味関心に合わせた学習を行っている。</p> <p>また、1日の授業時間を増やし、卒業に必要な単位を修得すれば三年間で卒業することも可能としている。二学期制を導入し、学期ごとに単位認定を行うため、前期卒業も可能としている。</p>		
2 生徒の実態		
<p>本校には、勤労青少年や高等学校を退学して再び入学する生徒、中学校時代に不登校傾向のあった生徒など、様々な事情や背景を持った生徒が在籍している。そのため、書くことや読むこと等の基本的な学習活動の定着が不十分な生徒や、コミュニケーションを取ることによって課題がある生徒など、学び直しや他者との交流についての支援が必要な生徒も少なくない。</p> <p>また、工業教育に興味を持ち、工業教科について意欲的に取り組む生徒が多く在籍している一方で、あまり興味を持たずに入学する生徒も複数在籍している。</p>		
3 調査の観点及び視点		
	観点	視点
①	基礎基本の定着	○単元の目標及びまとめの示し方 ○言葉の特徴やきまりに関する事項の扱い方 ○伝統と文化に関する内容の記述
②	学習方法の工夫	○問題解決的な学習を実施するための工夫 ○興味・関心を高めるための工夫
③	内容の構成・配列・分量	○年間の学習内容の見通しのもとせ方 ○単元や資料等の配列 ○系統性と反復性の工夫
④	内容の表現・表記	○挿絵・写真等の活用 ○巻末資料の示し方 ○配色や文字の大きさ等の工夫
⑤	言語活動の充実	○学校図書館機能の活用 ○ねらいに応じた言語活動の設定及びその工夫

## 平成29年度使用高等学校・中等教育学校（後期課程）用教科用図書申請書

### 記入上の注意

- 1 教科・科目順とすること。
- 2 発行の番号・略称、教科書の記号・番号は教科書目録によること。
- 3 すでに使用していて次年度も引き続き使用する教科書（生徒が購入しないもの）は学年欄の数字を○で囲んで示すこと。
- 4 教科書の調査の観点に従って評価し、選定した教科書について理由を記述すること。

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書 (その1)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由		
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動	
1	国語	国語総合	183 第一	国総 362	高等学校 新編国語総合 改訂版	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
			50 大修館	国総 347	高等学校 新編国語総合 改訂版	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎
②	国語	国語総合	183 第一	国総 328	高等学校 新編国語総合	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
			50 大修館	国表 305	国語表現	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
3	国語	国語表現	183 第一	国表 302	高等学校 国語表現	○	◎	○	○	○	○	○	○
			50 大修館	国表 305	国語表現	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
4	国語	国語表現	183 第一	国表 302	高等学校 国語表現	○	◎	○	○	○	○	○	○
			50 大修館	現A 305	高等学校 新編現代文A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3 4	国語	現代文A	50 大修館	現A 304	現代文A	◎	○	◎	○	○	○	○	○
			81 山川	世A 307	現代の世界史	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎
3	地理 歴史	世界史A	2 東書	世A 310	世界史A	◎	○	○	○	○	○	○	○

広島市教育長様  
(学校教育部指導第二課)

平成28年 7月 15日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書 (その2)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	地理 歴史	世界史A	46 帝国	地図 307	地歴高等地図 — 現代世 界とその歴史的背景—	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせ て示している。
2	地理 歴史	日本史A	81 山川 2 東書	日A 303 日A 308	現代の日本史 日本史A・現代からの歴史	◎	◎	○	◎	○	選定	学習の見通しを持たせることができよう、各章の始めにその章で学習する内容を ポイントを絞ったわかりやすい文章で示し ている。本文の理解を補足できるよう、側 注で詳しく説明している。
②	地理 歴史	日本史A	46 帝国	地図 307	地歴高等地図 — 現代世 界とその歴史的背景—	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせ て示している。
2	地理 歴史	地理A	46 帝国 35 清水	地A 308 地A 302	高等学校 新地理A 高等学校 現代地理A 最新版	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の地理的スキルを高められるよう、雨温 図の見方や写真の読み取り方を示す「技 能をみがく」を適宜設けている。
②	地理 歴史	地理A	46 帝国	地図 307	地歴高等地図 — 現代世 界とその歴史的背景—	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができよう、歴史的現象等を現代世界と重ね合わせ て示している。
4	地理 歴史	地理A	46 帝国 35 清水	地A 308 地A 302	高等学校 新地理A 高等学校 現代地理A 最新版	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の地理的スキルを高められるよう、雨温 図の見方や写真の読み取り方を示す「技 能をみがく」を適宜設けている。

広島市教育長様  
 (学校教育指第二課)

平成28年 7月 15日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

## 平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その3)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
④	地理 歴史	地理A	46 帝国	地図 307	地歴高等地図 —現代世 界とその歴史的背景—	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよ う、歴史的事象等を現代世界と重ね合わせ て示している。
1	公民	現代社会	7 実教 2 東書	現社 315 現社 313	最新現代社会 新訂版 現代社会	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の身近な話題を取り上げ興味関心を持 てるよう、社会に出てからも活用できるよ うな知識や姿勢を示すコラム「現代社会 Navi」を掲載している。
1	公民	現代社会	46 帝国 2 東書	地図 307 地図 301	地歴高等地図 —現代世 界とその歴史的背景— 新高等地図	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよ う、歴史的事象等を現代世界と重ね合わせ て示している。
3 4	公民	政治・経済	2 東書 35 清水	政経 302 政経 305	政治・経済 高等学校 新政治・経済 最新版	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の基礎基本の定着を図るため、各節で 学習したことをまとめるための課題「節の まとめ」を設けている。
③	公民	政治・経済	46 帝国	地図 307	地歴高等地図 —現代世 界とその歴史的背景—	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよ う、歴史的事象等を現代世界と重ね合わせ て示している。
④	公民	政治・経済	46 帝国	地図 307	地歴高等地図 —現代世 界とその歴史的背景—	◎	◎	◎	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよ う、歴史的事象等を現代世界と重ね合わせ て示している。

広島市教育長様  
 (学校教育指第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その4)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
1	数学	数学 I	2 東書	数 I 319	改訂 新数学 I	◎	○	◎	◎	○	選定	中学校での学習内容とのつながりが確認し ながら学習を深めることができるよう、学 び直しができる「プレリチュード」を巻頭に 設定している。
			7 実教	数 I 323	高校数学 I 新訂版	○	○	○	◎	○		
②	数学	数学 I	2 東書	数 I 303	新数学 I	◎	◎	◎	◎	○	選定	学習内容の定着を確認しながら見通しを 持つて学習に取り組むことができるよう、 各章のまとめを掲載している。
2	数学	数学 A	2 東書	数 A 319	改訂 新数学 A	◎	○	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、 章末に復習問題に加えて「章のまとめ」を 記載している。
			7 実教	数 A 323	高校数学 A 新訂版	◎	○	○	○	○		
4	数学	数学 A	2 東書	数 A 319	改訂 新数学 A	◎	○	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、 章末に復習問題に加えて「章のまとめ」を 記載している。
			7 実教	数 A 323	高校数学 A 新訂版	◎	○	○	○	○		
3 4	数学	数学 B	104 数研	数 B 313	新 高校の数学 B	◎	○	◎	◎	○	選定	目標を明確にして学習に取り組むことがで きるよう、各項目のはじめに学習する内容 を示している。
			2 東書	数 B 302	新編数学 B	◎	○	○	○	○		
3	数学	数学活用	7 実教	数活 301	数学活用	◎	◎	○	◎	○	選定	学習内容を活用し、より深く理解すること ができるよう、適宜、「課題」を設けてい る。
			61 啓林館	数活 302	数学活用	◎	○	○	○	○		

広島市教育長様  
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その5)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
4	数学	数学活用	7 実教	数活 301	数学活用	◎	◎	○	◎	○	選定	学習内容を活用し、より深く理解することができるよう、「課題」を設けている。
			61 啓林館	数活 302	数学活用	◎	○	○	○	○		
1	理科	科学と 人間生活	7 実教	科人 307	科学と人間生活 新訂版	◎	◎	◎	○	○	選定	学習内容について振り返ることができるように、各節に「節末問題」を設けている。また、興味・関心を高めることができるよう、簡単にできる実験を「やってみよう」で扱っている。
			2 東書	科人 306	改訂 科学と人間生活	○	○	○	○	○		
2	理科	物理基礎	2 東書	物基 312	改訂 新編物理基礎	◎	◎	◎	◎	○	選定	学習前後の知識の容量について確認できるよう、学習する内容について章の冒頭に、メモ欄「学習前」「学習後」を設けている。また、基礎基本の定着を図ることができるよう、小單元ごとに例題や問による問題演習を設定している。
			7 実教	物基 314	高校物理基礎 新訂版	○	◎	○	◎	○		
3 4	理科	化学基礎	2 東書	化基 314	改訂 新編化学基礎	◎	◎	◎	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、章ごとくに「まとめ」と章末確認テストを掲載している。
			104 数研	化基 320	改訂版 新編 化学基礎	○	◎	○	◎	○		
1	保健体育	保健	183 第一	保体 306	高等学校 改訂版 保健体育	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるため、各所に「コラム」(「保健編は生活最前線」、「体育編はスポーツ最前線」)を設けている。
			50 大修館	保体 304	現代高等保健体育改訂版	◎	○	○	◎	○		
②	保健体育	保健	183 第一	保体 303	高等学校 保健体育	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるため、各所に、「ピクチャースタディ」を設け、写真や絵を掲載して学習内容を説明している。



広島市教育長 様  
 (学校教育部指導第二課)

平成28年 7月 15日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その6)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3	芸術	書道 I	17 教出	書 I 307	新編 書道 I	◎	○	◎	◎	○	選定	学習活動や学習過程について理解が進むよう、段階や活動場面を示す写真を多用している。
			38 光村	書 I 308	書 I	◎	○	○	○	○		
④	芸術	書道 I	17 教出	書 I 303	書道 I	◎	○	◎	◎	◎	選定	学習の理解が深まるよう、考えるべき点について、「比べよう」「工夫の観点」「話し合おう」などの吹き出しを設けている。
1	外国語	コミュニケーション英語 I	104 数研	コ I 344	Revised COMET English Communication I	◎	◎	◎	○	○	選定	生徒が段階的に学習できるよう、1レッスンの単語数を70語程度から徐々に増やすとともに、生徒が意欲を持って英文に取り組めるよう、1レッスンごとの単語数が増えるにつれて本文全体を数パートに区切って配置している。
			2 東書	コ I 328	All Aboard! English Communication I	◎	○	○	○	○		
②	外国語	コミュニケーション英語 I	104 数研	コ I 318	COMET English Communication I	◎	◎	◎	○	○	選定	本文の重要表現について、言語の使用場面を理解することができるよう、関連表現とともに繰り返し練習をする“Key Expression”を設けている。
3	外国語	英語表現 I	15 三省堂	英 I 325	SELECT English Expression I New Edition	◎	◎	◎	◎	○	選定	時制など、英語の基本事項を定着させ、表現力を育成することができるよう、イラストを適宜配置するとともに、「つなぎ言葉ランキング」を設けている。
			183 第一	英 I 337	Vivid English Expression I NEW EDITION	◎	◎	○	○	○		
2	外国語	英語会話	15 三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	◎	○	◎	○	◎	選定	表現の理解が深まるよう、インタビュ어나ロールプレイなど、使用場面を意識した言語活動を設けている。
			2 東書	英会 301	Hello there! English Conversation	◎	○	○	○	○		

広島市教育長様  
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校(定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書(その7)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記		
4	外国語	英語会話	15 三省堂	英会 302	SELECT English Conversation	◎	○	◎	○	◎	表現の理解が深まるよう、インタビュ어나 ロールプレイなど使用場面を意識した言語 活動を設けている。
			2 東書	英会 301	Hello there! English Conversation	◎	○	○	○	○	
3	家庭	家庭基礎	2 東書	家基 311	家庭基礎 自立・共生・創造	◎	◎	◎	○	○	基礎基本の確実な定着を図ることができ るよう、小・中学校で学習した内容と高等学 校、中学校の学習とのつながり」のページ を設けている。発展的な学習に繋げること ができるよう、課題解決の連筋をフロー チャートで示している。
			50 大修館	家基 319	未来をつくる 新高校家庭基礎	○	◎	○	○	○	
3 4	家庭	フードデ ザイン	7 実教	家庭 301	フードデザイン	○	◎	◎	◎	○	生徒が目的意識をもって主体的に調理実習 に取り組めるよう、各実習の冒頭に「実習 のねらい」と「関連ページ」を示してい る。
			6 教図	家庭 307	フードデザイン cooking&arrangement	○	○	◎	○	○	
4	家庭	調理	7 実教	家庭 301	フードデザイン	○	◎	◎	◎	○	生徒が目的意識をもって主体的に調理実習 に取り組めるよう、各実習の冒頭に「実習 のねらい」と「関連ページ」を示してい る。
			6 教図	家庭 307	フードデザイン cooking&arrangement	○	○	◎	○	○	
④	家庭	調理	7 実教	家庭 301	フードデザイン	○	◎	◎	◎	○	生徒が目的意識をもって主体的に調理実習 に取り組めるよう、各実習の冒頭に「実習 のねらい」と「関連ページ」を示してい る。
1	工業 (共通)	工業技術 基礎	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定 着を図ることができよう、事例や記述が なされ、イラストなどの資料を多く掲載し ている。

広島市教育長様  
(学校教育部指導第二課)

平成28年 7月 15日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書 (その8)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
1	工業 (共通)	製図	7 実教	工業 307	製図	◎	○	○	◎	△	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、製図の基礎や機械、電気、建築に関する内容を記載している。
			7 実教	工業 302	機械製図	◎	○	○	○	△		
1	工業 (共通)	工業数理 基礎	7 実教	工業 308	工業数理基礎	◎	◎	○	○	○	選定	生徒の基礎基本の定着を図ることができるよう、長さ、質量、電力、電圧などのSI単位系を掲載している。また、興味関心を高めることができよう、興味関心を平易な練習問題を多く取り入れている。
			7 実教	工業 385	情報技術基礎 新訂版	◎	◎	◎	○	○		
1	工業 (共通)	情報技術 基礎	7 実教	工業 386	精選情報技術基礎 新訂版	○	◎	○	○	○	選定	プログラムの言語の基礎を確実に習得できるよう、工業科で扱うBASICとC言語を草立てして掲載している。
			201 海文堂	工業 344	デザイン技術	◎	○	○	◎	○		
2	工業 (共通)	デザイン 技術	201 海文堂	工業 344	デザイン技術	◎	○	○	◎	○	選定	デザインの興味関心を高めることができるよう、巻頭に写真や絵を設けている。
③	工業 (共通)	デザイン 技術	201 海文堂	工業 344	デザイン技術	◎	○	○	◎	○	選定	デザインの興味関心を高めることができるよう、巻頭に写真や絵を設けている。
②	工業 (機械)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定着を図ることができるよう、事例を記載している。また、イラストなどの資料を多く掲載している。

広島市教育長様  
(学校教育部指導第二課)

平成28年 7月 15日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書 (その9)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	工業 (機械)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるよう、事例や記述が定着を図ることができ、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業 (機械)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるよう、事例や記述が定着を図ることができ、イラストなどの資料を多く掲載している。
2	工業 (機械)	製図	7 実教	工業 307	製図	◎	○	○	◎	△	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、製図の基礎や機械、電気、建築に関する内容を記載している。
						◎	○	○	○	△		
②	工業 (機械)	製図	7 実教	工業 307	製図	◎	○	○	◎	△	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、製図の基礎や機械、電気、建築に関する内容を記載している。
③	工業 (機械)	製図	7 実教	工業 307	製図	◎	○	○	◎	△	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、製図の基礎や機械、電気、建築に関する内容を記載している。
③ ④	工業 (機械)	情報技術 基礎	7 実教	工業 309	情報技術基礎	○	◎	○	◎	○	選定	生徒が主体的に学習できるよう、各節ごとに学習のねらいを明確に示している。またカラー写真や絵を分かりやすく示している。

広島市教育長様  
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その10)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3 4	工業 (機械)	材料技術 基礎	7 実教	工業 340	工業材料	○	◎	◎	○	○	選定	環境問題と関係して学習を行うことができ るよう、環境に関する内容を記載してい る。
3	工業 (機械)	生産シス テム技術	7 実教	工業 313	生産システム技術	◎	◎	○	○	○	選定	基礎基本の定着が図れるよう、基礎となる 公式を適切に表記している。また、興味関 心を高められることができるよう、コラム や単位の由来の説明が適宜、掲載してい る。
4	工業 (機械)	生産シス テム技術	7 実教	工業 313	生産システム技術	◎	◎	○	○	○	選定	基礎基本の定着が図れるよう、基礎となる 公式を適切に表記している。また、興味関 心を高められることができるよう、コラム や単位の由来の説明が適宜、掲載してい る。
2	工業 (機械)	機械工作	7 実教	工業 315	機械工作1	◎	○	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、 各章の節を多く設け、学習内容を詳しく解 説している。
						○	◎	○	○	○		
③	工業 (機械)	機械工作	7 実教	工業 315	機械工作1	◎	○	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、 各章の節を多く設け、学習内容を詳しく解 説している。
④	工業 (機械)	機械工作	7 実教	工業 315	機械工作1	◎	○	◎	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、 各章の節を多く設け、学習内容を詳しく解 説している。

広島市教育長 様  
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その11)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	工業 (機械)	機械設計	7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、 章ごとに練習問題を多く設けている。また、 単位や量記号を分かりやすく表記して いる。
			7 実教	工業 318	新機械設計	◎	○	○	△	△		
4	工業 (機械)	機械設計	7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、 章ごとに練習問題を多く設けている。また、 単位や量記号を分かりやすく表記して いる。
			7 実教	工業 318	新機械設計	◎	○	○	△	△		
3 4	工業 (機械)	機械設計	7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、 章ごとに練習問題を多く設けている。また、 単位や量記号を分かりやすく表記して いる。
			7 実教	工業 318	新機械設計	◎	○	○	△	△		
③	工業 (機械)	機械設計	7 実教	工業 319	機械設計1	◎	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるように、 章ごとに練習問題を多く設けている。また、 単位や量記号を分かりやすく表記して いる。
2	工業 (機械)	原動機	7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	○	○	選定	専門的な学習内容について、より理解を深 めることができるよう、内燃機関と流体機 械についても詳しく解説している。
③	工業 (機械)	原動機	7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	○	○	選定	専門的な学習内容について、より理解を深 めることができるよう、内燃機関と流体機 械についても詳しく解説している。

広島市教育長 様  
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書 (その12)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3 4	工業 (機械)	原動機	7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	○	○	選定	専門的な学習内容について、より理解を深めることができるよう、内燃機関と流体機械について詳しく解説している。
4	工業 (機械)	原動機	7 実教	工業 345	原動機	○	◎	◎	○	○	選定	専門的な学習内容について、より理解を深めることができるよう、内燃機関と流体機械について詳しく解説している。
②	工業 (電気)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定着を図ることができると、事例や記述がなされ、イラストなどの資料を多く掲載している。
③	工業 (電気)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定着を図ることができると、事例や記述がなされ、イラストなどの資料を多く掲載している。
④	工業 (電気)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定着を図ることができると、事例や記述がなされ、イラストなどの資料を多く掲載している。
2	工業 (電気)	製図	7 実教	工業 303	電気製図	◎	◎	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができると、電各単元のねらい等を示している。また、電気・電子に関する図記号を表示している。
						◎	○	○	○	○		

広島市教育長様  
 (学校教育部指導第二課)

平成28年 7月 15日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その13)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	工業 (電気)	電気基礎	7 実教	工業 388	電気基礎1 新訂版	○	◎	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができるよう、各章の節の項目を多く設け、章全体を通して、詳しく説明している。
			7 実教	工業 390	精選電気基礎 新訂版	○	○	○	◎	○		
2	工業 (電気)	電気基礎	7 実教	工業 389	電気基礎2 新訂版	○	◎	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができるよう、各章の節の項目を多く設け、章全体を通して、詳しく説明している。
			7 実教	工業 390	精選電気基礎 新訂版	○	○	○	◎	○		
③ ④	工業 (電気)	電気基礎	7 実教	工業 325	電気基礎1	○	◎	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができるよう、見返しに単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。
			7 実教									
③ ④	工業 (電気)	電気基礎	7 実教	工業 326	電気基礎2	○	◎	◎	◎	○	選定	専門的な内容を学習することができるよう、見返しに単位・図記号を掲載している。また、例題や問題を適宜設けている。
3	工業 (電気)	電気機器	154 オーム	工業 349	電気機器	◎	◎	○	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、節の始めに学習のポイントを示している。また、電気機器で学ぶ重要な公式を示している
			7 実教	工業 348	電気機器	○	◎	○	○	○		
3 ④	工業 (電気)	電気機器	154 オーム	工業 349	電気機器	◎	◎	○	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、節の始めに学習のポイントを示している。また、電気機器で学ぶ重要な公式を示している
			7 実教	工業 348	電気機器	○	◎	○	○	○		



広島市教育長様  
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その14)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
2	工業 (電気)	電力技術	7 実教	工業 350	電力技術1 電力の発生と輸送	○	◎	◎	◎	○	選定	課題解決な学習ができるよう、節末問題や章末問題を掲載している。
			154 オーム	工業 352	電力技術1	○	○	○	○	○		
2	工業 (電気)	電力技術	7 実教	工業 351	電力技術2 電力の利用と制御	○	◎	◎	◎	○	選定	課題解決な学習ができるよう、章で学ぶ内容や章のまとめを掲載している。
			154 オーム	工業 353	電力技術2	○	○	○	○	○		
③	工業 (電気)	電力技術	7 実教	工業 350	電力技術1 電力の発生と輸送	○	◎	◎	◎	○	選定	課題解決な学習ができるよう、節末問題や章末問題を掲載している。
③	工業 (電気)	電力技術	7 実教	工業 351	電力技術2 電力の利用と制御	○	◎	◎	◎	○	選定	課題解決な学習ができるよう、章で学ぶ内容や章のまとめを掲載している。
4	工業 (電気)	電力技術	7 実教	工業 350	電力技術1 電力の発生と輸送	○	◎	◎	◎	○	選定	課題解決な学習ができるよう、節末問題や章末問題を掲載している。
			154 オーム	工業 352	電力技術1	○	○	○	○	○		
4	工業 (電気)	電力技術	7 実教	工業 351	電力技術2 電力の利用と制御	○	◎	◎	◎	○	選定	課題解決な学習ができるよう、章で学ぶ内容や章のまとめを掲載している。
			154 オーム	工業 353	電力技術2	○	○	○	○	○		

広島市教育長様  
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書 (その15)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
3 4	工業 (電気)	電子回路	7 実教	工業 356	電子回路	○	◎	○	◎	○	選定	専門的な内容についてより詳しく理解ができるよう、章ごとに学習のポイントやまとめを記載している。
			174 コロナ	工業 357	電子回路	○	○	○	○	○		
3 4	工業 (電気)	電子計測 制御	7 実教	工業 358	電子計測制御	◎	◎	○	○	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、各章ごとに学ぶ内容を示している。また、章ごとにまとめを掲載している。
2	工業 (電気)	通信技術	7 実教	工業 374	通信技術	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができるよう、電話やテレビ・オーディオ装置などの図を多く掲載している。
3	工業 (電気)	ソフトウエア 技術	7 実教	工業 361	ソフトウエア技術	○	◎	○	◎	○	選定	ソフトウエアの機能と操作に関する学習を深めることができるよう、節ごとに学習する内容を記載している。
4	工業 (電気)	ソフトウエア 技術	7 実教	工業 361	ソフトウエア技術	○	◎	○	◎	○	選定	ソフトウエアの機能と操作に関する学習を深めることができるよう、節ごとに学習する内容を記載している。
②	工業 (建設)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定着を図ることができるよう、事例や記述がなされ、イラストなどの資料を多く掲載している。

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

## 平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その16)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
③	工業 (建設)	実習	7 実教	工業 301	工業技術基礎	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めるとともに理解の定着を図ることができよう、事例や記述がなされ、イラストなどの資料を多く掲載している。
2	工業 (建設)	製図	7 実教	工業 305	建築設計製図	○	◎	○	◎	○	選定	生徒が興味関心を高めることができるよう、巻頭にカラーの挿絵を掲載している。また、本文・製図例を大きく示している。
						◎	○	○	◎	△		
③	工業 (建設)	製図	7 実教	工業 305	建築設計製図	○	◎	○	◎	○	選定	生徒が興味関心を高めることができるよう、巻頭にカラーの挿絵を掲載している。また、本文・製図例を大きく示している。
4	工業 (建設)	製図	7 実教	工業 306	土木製図	◎	◎	◎	◎	○	選定	土木構造物について学習できよう、製図方法や例題を掲載している。
						◎	◎	○	○	○		
2	工業 (建設)	建築構造	7 実教	工業 334	建築構造	◎	○	○	◎	○	選定	基本の定着を図ることができよう、構造の違う建物のカラー写真を掲載している。また、章で学ぶ内容を明確に表記している。
3 4	工業 (建設)	建築計画	7 実教	工業 362	建築計画	○	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよう、コラムやカラー写真を掲載している。

広島市教育長 様  
 (学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その17)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記 言語活動			
3 4	工業 (建設)	建築施工	7 実教	工業 376	建築施工	○	◎	○	◎	○	選定	施工に携わる人々の仕事と工事の流れを学習できよう、写真を多く掲載している。また、工事で使用する建設機械を掲載している。
3	工業 (建設)	建築法規	7 実教	工業 377	建築法規	○	◎	○	◎	○	選定	専門的な内容について、詳しく学習できるように、法令用語の解説を掲載している。また章ごとに練習問題を設けている。
4	工業 (建設)	建築法規	7 実教	工業 377	建築法規	○	◎	○	◎	○	選定	専門的な内容について、詳しく学習できるように、法令用語の解説を掲載している。また章ごとに練習問題を設けている。
3	工業 (建設)	測量	7 実教	工業 335	測量	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができより、やす測量の技法をイラストや写真で分かりやすく説明している。
④	工業 (建設)	測量	7 実教	工業 335	測量	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができより、やす測量の技法をイラストや写真で分かりやすく説明している。
2	工業 (建設)	土木基礎 力学	7 実教	工業 364	土木基礎力学1	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着を図ることができより、基本となる公式を明確に示している。

広島市教育長様  
 (学校教育部指導第二課)

平成28年 7月 15日

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校教科用図書申請書 (その18)

学年	教科名	科目名	発行者の 番号、略称	教科書の 記号、番号	書名	観点の評価				選定	選定の理由	
						基礎基本	学習方法	構成等	表現表記			言語活動
4	工業 (建設)	土木基礎 力学	7 実教	工業 364	土木基礎力学 I	◎	○	○	◎	○	選定	基礎基本の定着が図ることができている。 基本となる公式を明確に示している。
2	工業 (建設)	土木構造 設計	7 実教	工業 378	土木構造設計	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよう、 巻頭に構造物のカラー写真を掲載して いる。また、各項目ごとに学習のねらいを 示している。
3 4	工業 (建設)	土木構造 設計	7 実教	工業 378	土木構造設計	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよう、 巻頭に構造物のカラー写真を掲載して いる。また、各項目ごとに学習のねらいを 示している。
③	工業 (建設)	土木構造 設計	7 実教	工業 378	土木構造設計	◎	◎	○	◎	○	選定	生徒の興味関心を高めることができるよう、 巻頭に構造物のカラー写真を掲載して いる。また、各項目ごとに学習のねらいを 示している。
3 4	工業 (建設)	土木施工	7 実教	工業 366	土木施工	○	◎	○	◎	○	選定	土木施工について興味関心を高めることが できるよう、カラー写真や挿絵を豊富に掲 載している。
4	工業 (建設)	土木施工	7 実教	工業 366	土木施工	○	◎	○	◎	○	選定	土木施工について興味関心を高めることが できるよう、カラー写真や挿絵を豊富に掲 載している。

校番 高4

平成28年 7月 15日

広島市教育長様  
(学校教育部指導第二課)

学校名 広島工業高等学校 (定時制)

校長名 荒木 猛

平成29年度使用高等学校用教科用図書申請書 (その19)

学 年	教 科 名	科 目 名	発 行 者 の 番 号 、 略 称	教 科 書 の 記 号 、 番 号	書 名	観 点 の 評 価					選 定	選 定 の 理 由
						基 礎 基 本	学 習 方 法	構 成 等	表 現 表 記	言 語 活 動		
3	工業 (建設)	社会基盤 工学	7 実教	工業 379	社会基盤工学	○	◎	◎	◎	○	選定	社会基盤の学習内容を深めることができるよう、「LINK」により、関連する項目や用語の解説を掲載している。

(様式4)

広島市立広島工業高等学校(定時制)平成29年度使用教科用図書選定委員会規約

(設置)

第1条 広島市立高等学校(以下「学校」という。)において使用する教科用図書の選定について審議するため、広島市立広島工業高等学校(定時制)平成29年度使用教科用図書選定委員会(以下「選定委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 選定委員会は、委員7人以内をもって組織する。

(委員)

第3条 次に掲げる者を委員とする。

- (1) 学校の校長・教頭・事務長・教務主任
  - (2) 保護者代表、学校協力者会議委員、学識経験者等
- 2 委員の任命及び委嘱は校長が行う
  - 3 委員の任期は、委員会の開催日から開催年の10月末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 選定委員会には、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、校長とする。
- 3 副委員長は、委員の互選によってこれを定める。
- 4 委員長は、会務を掌理し、選定委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 選定委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 選定委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 選定の内容については、教科用図書を採択する教育委員会の会議が開催されるまで非公開とする。

(調査員)

第6条 選定委員会に、専門の事項を調査させるため、調査員を置く。

- 2 調査員は、学校の教諭のうちから、校長が任命する。

(庶務)

第7条 選定委員会の庶務は、広島市立広島工業高等学校(定時制)において処理する。

(委任規定)

第8条 この規約に定めるもののほか、選定委員会の運営に関し必要な事項は、校長が定める。

附 則

この規約は、平成28年 6月10日から施行する。